



# 平成30年7月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年12月8日

上場会社名 サムコ 株式会社

上場取引所 東

コード番号 6387 URL <https://www.samco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 辻 理

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 管理統括部長 (氏名) 竹之内 聡一郎

TEL 075-621-7841

四半期報告書提出予定日 平成29年12月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年7月期第1四半期の業績(平成29年8月1日～平成29年10月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年7月期第1四半期	649	38.2	144		128		92	
29年7月期第1四半期	469	66.5	178		177		127	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年7月期第1四半期	11.46	
29年7月期第1四半期	15.84	

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年7月期第1四半期	9,986	7,782	77.9	968.76
29年7月期	10,127	8,000	79.0	995.95

(参考)自己資本 30年7月期第1四半期 7,782百万円 29年7月期 8,000百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年7月期		0.00		15.00	15.00
30年7月期					
30年7月期(予想)		0.00		20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年7月期の業績予想(平成29年8月1日～平成30年7月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,200	27.9	170		165		140		17.42
通期	4,500	44.0	375		365		315		39.21

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、[添付資料] 8ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年7月期1Q	8,042,881 株	29年7月期	8,042,881 株
期末自己株式数	30年7月期1Q	9,395 株	29年7月期	9,395 株
期中平均株式数 (四半期累計)	30年7月期1Q	8,033,486 株	29年7月期1Q	8,033,626 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記の予想の前提条件その他に関する事項については、[添付資料] 3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	7
第1四半期累計期間	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善に伴う個人消費の拡大により緩やかな回復基調で推移しました。世界経済は、米国と欧州の経済が堅調に推移したことに加え、新興国経済の緩やかな回復が継続し、総じてみれば成長が続いておりますが、リスク要因としては北朝鮮情勢の緊迫化、米国新政権の経済政策運営やその新興国経済への影響、英国の欧州連合（EU）離脱交渉の展開やその影響等が挙げられております。

当社を取り巻く半導体等電子部品業界におきましては、世の中に存在する様々なモノがネットワークと繋がるIoT（Internet of Things）や人工知能（AI）の進展により主にシリコンを材料とした半導体メモリーの需要が急増し、これに関連した設備投資が積極的に行われております。また、当社の関わる化合物半導体及び電子部品製造装置の販売マーケット（注）においても、新たなモバイル機器や車載センサーなどの電子部品分野、あるいはMEMS（Micro Electro Mechanical Systems＝微小電気機械素子）といった先端分野での研究開発投資が幅広い企業で進んでおり、その中から本格生産への移行も進みつつあります。

このような状況の下、オプトエレクトロニクス分野の通信用レーザーや面発光レーザー（VCSEL）、電子部品分野の高周波デバイス、MEMS、各種センサー等の生産設備案件において商談が具体化し、複数顧客から受注を獲得いたしました。その結果、当第1四半期累計期間の受注高は1,876百万円（前年同期比91.9%増）となり、当第1四半期会計期間末の受注残高は2,261百万円（前年同期比84.5%増）となりました。一方、当第1四半期累計期間の売上高につきましては、前事業年度末の受注残高が1,034百万円という中でスタートであったため、現段階での売上高は低水準な結果に留まっております。

以上の結果、当第1四半期累計期間における業績は、売上高が649百万円（前年同期比38.2%増）、営業損失は144百万円（前年同期は営業損失178百万円）、経常損失は128百万円（前年同期は経常損失177百万円）、四半期純損失は92百万円（前年同期は四半期純損失127百万円）となりました。

## (用途別売上高)

用途	売上高（千円）	構成比（%）	前年同期比（%）
オプトエレクトロニクス分野	55,592	8.6	—
電子部品分野	118,829	18.3	△39.0
シリコン分野	144,631	22.3	—
実装・表面処理分野	98,681	15.2	38.8
表示デバイス分野	—	—	—
その他分野	77,000	11.8	89.7
部品・メンテナンス	154,385	23.8	△2.1
合計	649,119	100.0	38.2

（注）当社の関わる化合物半導体及び電子部品製造装置の販売マーケット

半導体製造装置業界には、シリコン（Si＝ケイ素）を材料とした半導体の製造装置を販売する企業は多く存在しますが、当社は化合物半導体や電子部品の製造装置を主力製品としております。シリコンを材料とした半導体は主にDRAM、フラッシュメモリーなどに用いられますが、当社の扱う化合物半導体はガリウムヒ素（GaAs）、窒化ガリウム（GaN）、炭化シリコン（SiC）などを主体材料とし、シリコンに比べ高速信号処理に優れ、高電圧で動作したり、幅広い波長の光に反応したりと優れた特性を備えており、シリコンでは達成できない機能による用途・分野を日々開拓し、着実にその市場を拡大させております。現在、実用化されている主な用途・分野には、照明用（青色LED）に加え車載用に需要が拡大している高輝度LEDや、通信用・小型プロジェクター向けに市場が拡大しているLD（オプトエレクトロニクス分野）、スマートフォンやタブレット型端末の普及で需要を牽引してきた高周波デバイス、省エネ対策として様々な研究開発が進んでいるパワーデバイスのほか、インクジェットプリンターヘッド、医療、ライフサイエンス、バイオなどで研究開発が進むMEMS（電子部品分野）などがあります。

化合物半導体製造装置の市場規模は、全半導体製造装置市場の10パーセント程度ではありますが、化合物半導体の加工は非常に困難であり、これを加工する半導体製造装置を製造するには高度な専門知識と技術の蓄積を要し、参入障壁の高い事業領域であります。当社は、創業以来この化合物半導体及び電子部品製造装置のマーケットに特化し、大学・官庁・研究機関などが主な販売先となる研究開発機市場に加えて、近年は電子部品メーカー・デバイスメーカー・情報通信機器メーカーなどの生産現場が主な販売先となる生産機市場に注力し、様々な電子機器

に不可欠である高周波デバイス、キャパシタ、パワーユニットなどの電子部品市場での設備投資需要を取り込み、事業を展開しております。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は、6,298百万円で前事業年度末に比べ129百万円減少いたしました。仕掛品が136百万円増加した一方、現金及び預金が238百万円、未収消費税等が71百万円減少したのが主な要因であります。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は、3,688百万円で前事業年度末に比べ11百万円減少いたしました。機械及び装置が14百万円減少したのが主な要因であります。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は、1,430百万円で前事業年度末に比べ56百万円増加いたしました。買掛金が57百万円増加したのが主な要因であります。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は、774百万円で前事業年度末に比べ20百万円増加いたしました。リース債務が11百万円、退職給付引当金が4百万円増加したのが主な要因であります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、7,782百万円で前事業年度末に比べ218百万円減少いたしました。これは、利益剰余金が212百万円減少したことなどによります。自己資本比率は77.9%と前事業年度末比1.1ポイント低下いたしました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年7月期の業績予想につきましては、概ね計画通りに推移しており、平成29年9月8日に発表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想数値に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年7月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,722,576	4,483,610
受取手形	117,588	64,979
売掛金	660,646	698,355
仕掛品	609,953	746,368
原材料及び貯蔵品	90,113	108,345
前払費用	7,930	15,273
繰延税金資産	73,490	111,051
未収消費税等	82,170	10,711
未収還付法人税等	99,184	99,184
その他	31,689	29,593
貸倒引当金	△67,510	△69,223
流動資産合計	6,427,832	6,298,250

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年7月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年10月31日)
<b>固定資産</b>		
有形固定資産		
建物	1,038,714	1,039,499
減価償却累計額	△640,759	△649,058
建物(純額)	397,955	390,440
構築物	25,314	25,314
減価償却累計額	△23,913	△23,978
構築物(純額)	1,400	1,336
機械及び装置	735,204	735,204
減価償却累計額	△600,846	△615,132
機械及び装置(純額)	134,357	120,072
車両運搬具	48,869	48,869
減価償却累計額	△36,419	△37,490
車両運搬具(純額)	12,449	11,378
工具、器具及び備品	205,132	205,132
減価償却累計額	△175,743	△178,377
工具、器具及び備品(純額)	29,388	26,754
土地	2,530,836	2,530,836
リース資産	43,558	48,033
減価償却累計額	△29,417	△27,224
リース資産(純額)	14,141	20,809
建設仮勘定	6,608	15,458
有形固定資産合計	3,127,139	3,117,086
無形固定資産		
特許権	3,386	2,878
電話加入権	2,962	2,962
ソフトウェア	186	166
水道施設利用権	1,550	1,479
リース資産	—	8,286
無形固定資産合計	8,086	15,774
投資その他の資産		
投資有価証券	227,421	219,970
関係会社株式	101,884	101,884
出資金	5,000	5,000
関係会社長期貸付金	55,904	49,450
繰延税金資産	68,270	70,816
差入保証金	76,340	78,738
保険積立金	29,161	29,161
その他	870	821
投資その他の資産合計	564,852	555,843
固定資産合計	3,700,078	3,688,704
資産合計	10,127,911	9,986,955

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年7月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	341,567	398,917
短期借入金	800,000	800,000
リース債務	4,040	7,313
未払金	79,246	70,557
未払費用	29,904	31,386
未払法人税等	15,369	5,867
預り金	24,933	31,494
賞与引当金	19,300	40,700
製品保証引当金	9,400	11,600
その他	49,728	32,368
流動負債合計	1,373,490	1,430,204
固定負債		
リース債務	10,101	21,928
長期末払金	505	1,481
退職給付引当金	386,815	391,715
役員退職慰労引当金	356,039	359,042
固定負債合計	753,461	774,168
負債合計	2,126,951	2,204,372
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,663,687	1,663,687
資本剰余金		
資本準備金	2,079,487	2,079,487
資本剰余金合計	2,079,487	2,079,487
利益剰余金		
利益準備金	59,500	59,500
その他利益剰余金		
別途積立金	3,867,000	3,867,000
繰越利益剰余金	219,108	6,524
利益剰余金合計	4,145,608	3,933,024
自己株式	△10,580	△10,580
株主資本合計	7,878,202	7,665,618
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	122,756	116,963
評価・換算差額等合計	122,756	116,963
純資産合計	8,000,959	7,782,582
負債純資産合計	10,127,911	9,986,955



(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年8月1日 至平成28年10月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年8月1日 至平成29年10月31日)
売上高	469,647	649,119
売上原価	250,874	350,208
売上総利益	218,772	298,911
販売費及び一般管理費	396,982	443,709
営業損失(△)	△178,209	△144,798
営業外収益		
受取利息	931	641
為替差益	—	14,088
雑収入	2,980	2,835
営業外収益合計	3,911	17,566
営業外費用		
支払利息	1,009	965
為替差損	207	—
売上割引	1,575	72
雑損失	470	—
営業外費用合計	3,262	1,037
経常損失(△)	△177,560	△128,269
税引前四半期純損失(△)	△177,560	△128,269
法人税等	△50,258	△36,187
四半期純損失(△)	△127,302	△92,081

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、半導体等電子部品製造装置の製造及び販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

当社は、半導体等電子部品製造装置の製造及び販売事業の単一セグメントであるため、生産、受注及び販売の状況につきましては、当社の品目別及び地域別に記載しております。

① 生産実績

(単位：千円)

区 分 (品目別)	前第1四半期累計期間 (自 平成28年8月1日 至 平成28年10月31日)		当第1四半期累計期間 (自 平成29年8月1日 至 平成29年10月31日)		前事業年度 (自 平成28年8月1日 至 平成29年7月31日)	
	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)
CVD装置	4,269	0.6	83,626	8.7	246,145	7.1
エッチング装置	403,037	53.2	594,493	61.9	1,905,233	55.3
洗浄装置	163,217	21.5	111,859	11.7	512,496	14.9
その他	187,478	24.7	169,805	17.7	780,572	22.7
合計	758,002	100.0	959,784	100.0	3,444,448	100.0

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

(単位：千円)

区 分 (品目別)	前第1四半期累計期間 (自 平成28年8月1日 至 平成28年10月31日)		当第1四半期累計期間 (自 平成29年8月1日 至 平成29年10月31日)		前事業年度 (自 平成28年8月1日 至 平成29年7月31日)	
	受注高	受注残	受注高	受注残	受注高	受注残
CVD装置	37,000	56,730	252,724	409,724	427,090	234,000
エッチング装置	649,982	884,972	1,347,915	1,566,208	1,825,317	611,435
洗浄装置	88,300	118,000	78,743	145,251	431,404	91,100
その他	202,456	165,985	196,933	140,028	757,261	97,480
合計	977,739	1,225,688	1,876,316	2,261,213	3,441,072	1,034,016

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

(単位：千円)

区 分 (品目別)	前第1四半期累計期間 (自 平成28年8月1日 至 平成28年10月31日)		当第1四半期累計期間 (自 平成29年8月1日 至 平成29年10月31日)		前事業年度 (自 平成28年8月1日 至 平成29年7月31日)	
	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)
CVD装置	—	—	77,000	11.8	212,820	6.8
エッチング装置	235,500	50.1	393,141	60.6	1,684,372	53.9
洗浄装置	76,500	16.3	24,592	3.8	446,504	14.3
その他	157,647	33.6	154,385	23.8	780,956	25.0
合計	469,647	100.0	649,119	100.0	3,124,652	100.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 主な輸出地域、輸出販売高及び割合は次のとおりであります。

(単位：千円)

区 分 (地域別)	前第1四半期累計期間 (自 平成28年8月1日 至 平成28年10月31日)		当第1四半期累計期間 (自 平成29年8月1日 至 平成29年10月31日)		前事業年度 (自 平成28年8月1日 至 平成29年7月31日)	
	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)
アジア	176,562	100.0	206,561	92.6	831,520	80.5
北米	—	—	16,580	7.4	69,399	6.7
欧州	—	—	—	—	37,782	3.7
その他	—	—	—	—	94,346	9.1
輸出販売高合計	176,562 (37.6%)	100.0	223,142 (34.4%)	100.0	1,033,048 (33.1%)	100.0

(注) ( ) 内は総販売実績に対する輸出販売高の割合です。